



高 1 秋元佑哉

◆はじめに

普段、駅で電車に乗る前に流れるメロディー、これを「発車メロディー」と呼びます。他にも「発車サイン音」や「駅メロディー」とも呼ばれています。今回はその中でも、JR 東日本と首都圏の私鉄・地下鉄を中心に、有名な発車メロディーから珍しい発車メロディーまで紹介していきます。

発車メロディーの曲名は、市販されている CD の物や、発車ベル使用状況様の物を中心に使わせていただきます。

※この記事のデータは 2011 年 11 月 29 日現在のものです。

◆発車メロディーの歴史

まずは、2011 年までの東日本の発車メロディーの歴史を年表にして紹介します。一部の出来事については年表の後に説明を加えます。

年	出来事
1889 年 3 月	JR 東日本最初の発車メロディー（YAMAHA 製）が新宿駅と渋谷駅に導入される。
1889 年 10 月～11 月	仙台駅に発車メロディーが 10 月に新幹線ホーム、11 月に在来線ホームに導入される。
1990 年 1 月	水戸駅に発車メロディー（YAMAHA 製）が導入される。
1990 年代	首都圏の各駅に発車メロディーが導入されるようになる。
1991 年 8 月	東武宇都宮線東武宇都宮駅に発車メロディー「PASSENGER」が導入される。
1991 年 11 月	営団最初の発車メロディーが営団南北線（当時）に導入される、
1992 年 6 月	東武東上線池袋駅に発車メロディー「PASSENGER」が導入される。
1997 年 2 月	日本で最初のご当地メロディー「蒲田行進曲」が京浜東北線蒲田駅に導入される。

2003年3月	山手線高田馬場駅の発車メロディーが「鉄腕アトム」になる。
2005年3月	著作権の問題により、ユニパックス製の一部の発車メロディー（清流・雲を友として等）が変更される。
2006年12月	車両に発車メロディーを流れる装置を搭載したE233系が中央線で運転を開始する。
2007年3月	京葉線潮見～蘇我駅間に発車メロディーが一斉導入される。
2008年6月	東京メトロ丸ノ内線・副都心線に発車メロディーが導入される。

●解説

■YAMAHA製発車メロディー

ピアノやハーブ等を基調とした穏やかなメロディーです。1989年3月11日に新宿駅と渋谷駅に同時に導入され、それから約1年後の1990年1月15日に水戸駅に導入されました。現在では水戸駅でのみ使われています。

導入当時の使用状況がこちら。

新宿駅

番線	路線	曲名	使用期間
1	埼京線	ピアノの鐘的な響き	01.12.15まで
2	埼京線	ピアノの鐘的な響き	01.12.15まで
3	成田エクスプレス	マリンバ・森の音・野生の鹿の声	97.11.28まで
4	成田エクスプレス	マリンバ・森の音・野生の鹿の声	97.11.28まで
5	中央本線（特急）	ピアノと小鳥の鳴き声	01.07.14まで
6	中央本線（特急）	ハーブとせせらぎ	01.07.14まで
7	中央快速線（上り）	ハーブによるシンプルな音節	98.03.15まで
8	中央快速線（上り）	ハーブによるシンプルな音節	98.03.15まで
9	中央快速線（下り）	ハーブと小鳥のさえずり	98.07.26まで
10	中央快速線（下り）	ハーブによるシンプルな音節	98.07.26まで
11	中央・総武緩行線（東行）	素朴な鐘の音	99.02.18まで
12	山手線（内回り）	ピアノの速い音節と鈴	99.02.18まで
13	山手線（外回り）	ピアノの速い音節と鈴	00.02.03まで
14	中央・総武緩行線（西行）	素朴な鐘の音	00.02.03まで

※路線名は導入当時の物。途中で路線名が変更されている所も存在する。

渋谷駅

番線	路線	曲名	使用期間
1	山手線（内回り）	ミュートピアノと鈴	01.01.29 まで
2	山手線（内回り）	ミュートピアノと鈴	01.01.23 まで

※1996年に新設された埼京線のホームには導入されなかった。

水戸駅

番線	路線	曲名	使用期間
1	水郡線	初夏の雪解けの小川のせせらぎ	現在使用中
2	水郡線	初夏の雪解けの小川のせせらぎ	
3	常磐線（下り）	日本庭園の水と草木	
4	常磐線（下り）	日本庭園の水と草木	
5	常磐線（上り）	大都会の雑踏の中で聞こえるチャイム	
6	常磐線（上り）	大都会の雑踏の中で聞こえるチャイム	
7	常磐線（上り特急）	太平洋の海岸での生命の誕生	

※8番線（大洗鹿島線ホーム）には別の発車メロディーが導入されている。

■ PASSENGER

1991年の8月に東武宇都宮線の東武宇都宮駅にて初導入されました。その約1年後の1992年の11月に東武東上線の池袋駅にも導入され、現在では伊勢崎線の浅草駅・北千住駅や、亀戸線の曳舟駅でも使われています。詳しくは私鉄発車メロディーの項目で説明します。

◆ 発車メロディーが鳴るシステム

発車メロディーを鳴らすには、スイッチ・スピーカー・放送装置が必要になります。その中でも今回は、スイッチとスピーカーについて（少ないですが）写真を付けて紹介します。

● 発車ベルスイッチ

発車メロディーを鳴らすためのスイッチを大抵の場合「発車ベルスイッチ」と呼びます。最も一般的な物で下の左の画像のように、黒と赤のボタンがあり、黒いボタンには白字で「ON」、赤いボタンには白字で「OFF」と書かれています。「ON」を押せば発車メロディーが流れ、ロックされます。この時、「ON」ボタンは引っ込んだままになりますが、「OFF」を押すと、「ON」ボタンのロックは解除

されて、ボタンは元の位置に戻り、メロディーが止まります。なお、「ON」ボタンの押しが弱いと、ロックされずに元に戻ってしまうこともあります。（この現象は長期間使われているスイッチに比較的多い）中には途中でスイッチを「OFF」にしてもメロディーが最後まで流れるシステムを導入している駅も存在します。（青梅線・中央本線立川駅等）

	
<p>首都圏の多くの駅で採用されている 標準的なベルスイッチ (春日電機製) (かなり使い古されている) 2010.02.01 成田駅にて撮影</p>	<p>相模線の駅や高崎駅で使用されている ベルスイッチ (光波製) 2010.01.24 橋本駅にて撮影</p>

発車ベルスイッチを長期間使っていると、上の左の写真のように変色（色が薄くなる）してしまったり、文字が消えてしまったりします。

他にも、出発信号が青にならないとボタンを押してもメロディーが流れないタイプや押している間しかメロディーが流れないタイプ、1回押すと一通り曲が流れるタイプなど、さまざまなタイプがあります。上の右の写真は、相模線などで使われている1回押すと一通り曲が流れるタイプの発車ベルスイッチです。他にもいろいろな発車ベルスイッチがあるので、皆さんの最寄りの駅で探してみるのもいいかもしれません。

●スピーカー

スイッチだけあっても利用者にはメロディーが聞こえません。そこで登場するのがスピーカーです。多くの企業がJR東日本にスピーカーを納入しているので、一部の製品だけを抜粋して紹介したいと思います。名前は oriori-Station 館-様の物を中心に使わせていただきます。

■ UNI-PEX

JR 東日本の中で最も使われているスピーカーです。JR 東日本が納入した物はスピーカーの右下に緑字で、JR 東海が納入した物はスピーカーの右下にオレンジ字で「JR」のロゴが付けられています。稀ですが、「JR」のロゴが付いていないタイプも存在します。



(発車標の上で見辛いが)
スピーカーの右下に緑色で
「JR」のロゴがついているのが分かる。

(ユニボックス小型)
2010.01.24 橋本駅にて撮影



スピーカーの右下にオレンジ色で
「JR」のロゴがついているのが分かる。

(ユニボックス大型)
2009.12.22 浜松駅にて撮影

■ Victor

JR 東日本を始めとして、全国の駅で使われています。音質がいいのが特徴です。スピーカーの中央下に何も書かれていない物は初期型、スピーカーの中央下に「Victor」と書かれている物は後期型です。



スピーカーの中央下に
「Victor」と書かれている後期型。

(小 VOSS)
2010.12.22 柵・美木多駅にて撮影
左の写真の駅のように、
近畿地方の私鉄の駅でも
使われている所がある。

■ CLD

2010年頃から総武緩行線に導入され始めたタイプで、スピーカーの向いている方にしか音が届かないので、住宅地の中にある駅等を中心に騒音対策として使われています。お値段も結構張っています。(大体1つにつき十数万円) 見た目はあまり「スピーカー」という感じがしません。



一目見たただけだと何か分からないです。

(CLD 標準型)

2010.02.01 成田駅にて撮影



左の写真の物よりも横長です。

(CLD 横長型)

2009.11.01 四方津駅にて撮影

◆発車メロディー紹介

今回の(一応)メインとなるコーナーです。ここでは有名な汎用メロディーやご当地メロディーを紹介していきます。

表記は「曲名(発車ベル使用状況での整理番号)」として紹介します。

有名な曲は一通り網羅しているつもりですが、所々抜けている物もあるかもしれませんので、その辺は目を瞑っていただければ、と思います。

●YAMAHA

本社：静岡県浜松市中区

JR 東日本最初の発車メロディーを納入した会社です。新宿駅、渋谷駅、水戸駅の他、JR 西日本の金沢駅の発車メロディーを製作しました。現在でも使われているのは水戸駅と金沢駅の発車メロディーのみです。新宿駅と渋谷駅の発車メロディーが変更されたのは、当時 YAMAHA が納入した放送装置とスピーカーが老朽化してしまったのが理由だと言われています。前々項でメロディーについて説明したので、曲紹介は割愛させていただきます。

●ユニベックス

本社：大阪府枚方市

スピーカーを作る他にも発車メロディーを納入しています。「春」や「せせらぎ」など曲名は分からなくても有名な曲ばかりなので、皆さんも一度は聞いたことがあるかと思います。

■代表曲紹介

・清流（周辺地域1番）

主な使用駅：高崎問屋町（18秒）

1990年代から2005年頃にかけて京浜東北線・中央・総武緩行線・常磐線などに導入されていました。元はオカリナ奏者である宗次郎氏の曲をアレンジした物で、原曲よりも暗めにアレンジされています。（あくまでも個人の感想です）曲の長さは6種類ほどあり、最長で18秒です。現在は最長バージョンのみ使われています。

・雲を友として（周辺地域2番）

主な使用駅：高崎問屋町（22秒）

2005年まで山手線・京浜東北線・中央・総武緩行線に導入されていました。この曲も元は宗次郎氏の楽曲です。曲の長さは4種類ほどあり、最長で22秒です。現在は最長バージョンのみ使われています。

・春（周辺地域3番）

主な使用駅：池袋・松戸・品川・南千住（標準）

赤羽・日暮里・品川・南千住（トレモロ強調）

現在でも、山手線・中央快速線・常磐緩行線を中心に使用されています。バージョンは標準バージョンとトレモロ強調バージョンがあり、南千住駅では上下でこの2バージョンを上下のホームで使い分けています。「せせらぎ」と組み合わせて使われることが多いです。

・せせらぎ（周辺地域4番）

主な使用駅：池袋・川口・川崎・四ツ谷（鐘強調）

板橋・十条・北赤羽・浮間舟渡（鐘強調・速い）

上溝（鐘強調・フェードアウトする）

「春」と共に現在のユニベックスの主力メロディーです。

バージョンは鐘強調バージョンとフェードアウトバージョンがあります。埼京線の板橋・十条・北赤羽・浮間舟渡駅の物は音程が高く、若干速いです。上溝駅では鐘強調バージョンを使っていますが、周りの駅の発車メロディーと曲の長さを合わせるため、5秒ほどで曲が終わるようにフェードアウトする仕様になっています。

・高原（近郊地域 9 番）

主な使用駅：川崎・大森・赤羽・南浦和（ピアノ）

青森（鐘・速い）

昔は「草原」という曲と組み合わせで使われることが多かったのですが、いつの間にか「草原」が使われなくなり、この曲のみになってしまいました。バージョンはピアノと鐘があります。つい最近青森駅にも導入されました。埼京線を通勤や通学で利用している人たちから、「埼京の不協和音」とも呼ばれることもあります。

●東洋メディアリンクス

本社：東京都千代田区

北は青森、南は南小谷まで JR 東日本管内全般で使用されているメロディーを製作しています。また、「Gota del Vient」「Water Crown」「Verde Rayo」の 3 曲にはエンドレスバージョンが存在しますが、実際は 50 秒程度に纏められています。

■代表曲紹介

曲名の表記は 正式名（日本語訳）の順番。

・CieloEstrellado（星空）（東日本地域 5 番）

主な使用駅：上野・五反田・大宮・小山・中野・大船・国際展示場

この曲を最初に導入したのは山手線の五反田駅だと言われています。上野駅や国際展示場駅などの地下にある駅は音が反響してメロディーが綺麗に聞こえます。

・Gota del Vient（一滴の風）（東日本地域 6 番）

主な使用駅：新橋・大船・大宮・西船橋・荻窪・酒々井・安房鴨川

新橋駅といえばこの曲です。他にも常磐線・中央・総武緩行線の駅で使われています。因みに、E233 系や E531 系、E721 系の車外メロディーにも使用されています。この曲のエンドレスバージョンは、安房鴨川駅で使われています。

・Water Crown（水の冠）（東日本地域 7 番）

主な使用駅：目黒・大宮・川崎・橋本・横浜・小山・熱海

この曲だけ曲名が英語です。この曲を最初に導入したのは山手線の目黒駅だと言われています。主に京浜東北線の神奈川県内の駅・根岸線・横浜線・東海道本線など、横浜県内の JR 線の駅で多く使わ

れています。この曲も E233 系などの車外メロディーに使用されています。この曲のエンドレスバージョンは、小山駅と姉ヶ崎駅で使われています。

現在 JR 東日本の中で最も使用されている発車メロディーです。

・ Verde Rayo（緑の光線）（東日本地域 8 番）

主な使用駅：横浜・大宮・山形・東京・佐倉・巖根・津田沼

通称「よこいち」。横浜支社の多くの駅で使われているからという理由ですが、Water Crown より使用駅が少ないです。この曲だけ管弦楽調にアレンジされた「Verde Rayo V2」が存在し、京葉線の東京駅・八丁堀駅・越中島駅、成田線の佐倉駅で使用されています。この曲のエンドレスバージョンは、過去に拝島駅で使われていましたが、2008 年 10 月に内房線の巖根駅で奇跡の復活を果たしました。

・ 近郊 17 番（はいいち）

主な使用駅：藤沢・東所沢・西国分寺・安中榛名

通称「はいいち」「サイレン」。はいいちとは拝島 1 番という意味で、過去に拝島駅で使われていたことに由来します。サイレンはメロディーそのまま。聞いてみれば分かると思います。発車メロディーとしてはどうなの…って感じもします。

●五感工房（GK）

本社：東京都千代田区

昔、東洋メディアリンクスから独立した会社だったのですが、最近になってまた東洋メディアリンクスに統合されました。1993 年から作曲家の塩塚博氏に発車メロディーの製作を依頼し、JR-SH シリーズを納入しました。（JR-SH の SH は塩塚氏のイニシャル）曲がよく転調するのが特徴です。俗に言う「塩塚サウンド」の発祥はこのメロディーたちです。

■代表曲紹介

・ JR-SH1/JR-SH1-1（近郊地域 25 番/近郊地域 26 番）

主な使用駅：東京・新橋・渋谷・国分寺・長野（JR-SH1）

横浜・高麗川・信濃町・軽井沢・長野（JR-SH1-1）

JR-SH1 の方が多くの駅で採用されています。主に中央快速線・八高線の電化区間で使用されています。

・JR-SH2/JR-SH2-1 (近郊地域 23 番/近郊地域 24 番)

主な使用駅：東京・有楽町・錦糸町・武蔵新城・郡山 (JR-SH2)

東京・三鷹・新小岩・横浜・五反田 (JR-SH2-1)

1994 年の夏にこの曲が南武線の武蔵新城駅に初導入されました。中央・総武緩行線では JR-SH2 と JR-SH2-1 の組み合わせで使用されている駅もあります。

・JR-SH5/JR-SH5-1 (近郊地域 21 番/近郊地域 22 番)

主な使用駅：東京・有楽町・熱海・武蔵新城 (JR-SH5)

立川・北浦和・勝浦 (JR-SH5-1)

この曲も最初に導入されたのは南武線の武蔵新城駅です。東京駅でも使われている有名な曲ですが、あまり使用駅が多くないのも特徴の一つです。

・JR-SH8/JR-SH8-1 (近郊地域 27 番/近郊地域 28 番)

主な使用駅：桶川・塩山 (JR-SH8)

勝浦 (JR-SH8-1)

非常にマイナーな曲です。曲の終わりが特徴的です。個人的にはもっと採用駅が増えてくれたな、とか思ったりもしています。

●櫻井音楽工房

本社：東京都練馬区

とにかく採用曲数が多いです。曲毎に整理番号ではなく曲名がついているのも特徴です。

■代表曲紹介

基本的に曲順は発車ベル使用状況様の物に準拠します。

・ホリデイ (近郊地域 39 番)

主な使用駅：国立・立川・大崎・神田・中野島 (標準/V1)

戸塚・船橋・稲毛・津田沼 (音色違い/V2)

昔は標準バージョンより少し速い物もありましたが、全て標準バージョンに置き換えられました。正直、V2 の方の音色は…。

・秋桜 (近郊地域 41 番)

主な使用駅：長野・黒磯・新町・栃木・安食・新八柱 (標準/V1)

「こすもす」と読みます。過去には音色違いもありましたが、全て別の曲に置き換えられました。非常に音色が綺麗な曲です。

・あざみ野 (近郊地域 42 番)

主な使用駅：鎌倉・稲毛・船橋・津田沼・拝島 (標準/V1)

尾久 (音色違い/V2)

V1 と V2 を聞き分けるのは意外と難しいです。東急電鉄や横浜市営地下鉄のあざみ野駅で使われている訳ではないです。正直使ってほしい気もしますが…。

・花と空 (近郊地域 48 番)

主な使用駅：我孫子・佐原・二俣新町・上野原

常磐線我孫子駅で初採用の曲。使用駅がかなり少ないです。余韻が印象的です。

・スプリングボックス (近郊地域 52 番)

主な使用駅：池袋・秋葉原・浦和・浜松町・吉祥寺・成東・四方津・武蔵浦和 (・北上)

1999 年 11 月に「メロディー」と共に武蔵野線武蔵浦和駅・東浦和駅・東川口駅の 3 駅に最初に導入されました。他の曲に比べて余韻が非常に長いです。また、東北本線・北上線の北上駅ではこの曲が接近メロディーとして使われています。

・mellow time (近郊地域 56 番)

主な使用駅：新宿・池袋・赤羽・南浦和・大月・立川・北上

この曲を聞いても全然メロウな気持ちになりません。京浜東北線沿線民として毎日聞いているとだんだん複雑な気持ちになってきます。

・sunny islands (近郊地域 57 番)

主な使用駅：神田・新松戸・上野原・氏家

音質が悪い駅だと音があまり綺麗に聞こえません。この曲は実際に聞くより、CD で聞いた方がいいかもしれません。

・ベルの響き (近郊地域 59 番)

主な使用駅：岡部・茂原・八積・大原・南古谷

こういう曲名ですがベルの音色は全く入っていません。曲名負けしている気もします…。

・瞬く街並み （近郊地域 62 番）

主な使用駅：立川・大崎・新松戸・梁川・木下（標準/V1）

「煌めく街並み」と表記されることもあり、曲名表記が曖昧です。音色違いのV2は未採用です。デーデーデン。

・南風の行方 （近郊地域 66 番）

主な使用駅：黒磯・誉田・新八柱

何か全体的に「スプリングボックス」と同じ雰囲気があります。因みに誉田駅ではこの曲と「スプリングボックス」がセットで使われています。混線しないのでしょうか…。

・公園通り （近郊地域 69 番）

主な使用駅：千葉みなと

京葉線オリジナルの発車メロディーです。跳ねた曲調が特徴です。

・緑の車窓 （近郊地域 72 番）

主な使用駅：検見川浜

これも京葉線オリジナルです。不気味な曲調で気持ちが不安定になります。

・farewell （新宿 102 番）

主な使用駅：新宿・大宮・安食・武蔵五日市

曲名の意味は「別れ」です。別れを感じさせる独特な余韻が特徴です。

・see you again （新宿 106 番）

主な使用駅：新宿・小淵沢・新浦安・氏家・鹿沼・八戸・新青森

東北新幹線の駅でも使われているメロディーです。何となく新幹線向きの曲だと思います。

・海岸通り （新宿 107 番）

主な使用駅：新宿・四方津・葦崎・新木場・南船橋・指扇（標準/V1）

曲名通り、海に近い京葉線でよく使われている反面で、四方津駅や葦崎駅などの山奥の海から大分離れた駅でも使われています。曲名なんて飾りです。偉い人にはそれが分からんのですよ。音色違いのV2は未採用です。

・すすきの高原 （新宿 108 番）

主な使用駅：新宿・吉祥寺・赤羽・登戸（標準/V1）

浦和・我孫子・西船橋（音色違い/V2）

東京都内での採用率が高いです。V2 は音色違いというよりも、副旋律を強調した感じになっています。

・小川のせせらぎ （新宿 109 番）

主な使用駅：池袋・秋葉原・長野（標準/V1）

渋谷・大崎（音色違い/V2）

新宿（V1 よりも若干速い）

この曲だけ唯一、池袋駅・新宿駅・渋谷駅の 3 大駅で使われており、使われているバージョンが全て違うという非常に珍しい曲です。個人的には V2 は若干音が籠っているように感じます。

・木々の目覚め （新宿 110 番）

主な使用駅：宇都宮・拝島・鎌倉（標準/V1）

川越・武蔵高萩・桐生（音色違い/V2）

新宿（V1 よりも若干速い）

この曲は「あざみ野」以上に V1 と V2 の聞き分けが難しいです。V2 の方が若干音が尖っているような気がします。

・風と共に （新宿 111 番）

主な使用駅：佐原・宝積寺・八戸・新青森（音色違い/V2）

標準バージョンの V1 が未採用という珍しい曲です。因みに最初に導入されたのは新宿駅ですが、隣の番線の曲（新たな季節）と曲調が似ているという理由で採用から 1 年も経たないうちに「メロディー」に変更されてしまったという悲しい経歴を持っています。

・新たな季節 （新宿 112 番）

主な使用駅：新宿・大宮・武蔵浦和・与野本町

山手線の新宿駅と埼京線の大宮駅～武蔵浦和駅間でしか使われていない曲です。昔某 TV 番組でこの曲が流れていた記憶があります…。

●サウンドファクトリー

本社：静岡県浜松市中区

ここは発車メロディーを製作する会社、というよりも、著作権フリーのジングルやメロディーを製

作している所です。数ある中の一部が発車メロディーとして使われています。しかし、発車メロディーとしてこのメロディーを使うと著作権フリー扱いにはなりません。これは著作権フリーとなるのは個人的な目的で利用することに限られているからです。

曲名は整理番号の他に、JR 東日本・テイチク・サウンドファクトリーが付けた名前があります。

ここは正直あまり発車メロディーに向いていない曲が多い気がします…。

■代表曲紹介

・SF-3／教会の見える駅（周辺地域 105 番）

主な使用駅：大崎・川口・田端・日暮里・秋葉原・四ツ谷・柏

この曲は最初、2002年12月に山手線の大崎駅に導入されました。その後、先ほど説明したユニペックス製発車メロディーの著作権云々で使用できなくなった曲の代替として後述の「春～NewVer～」と共に一斉に導入されました。

「海岸通り」と同じように、駅から教会が見えない駅（少なくとも川口駅は）でも使われています。やっぱりタイトルは飾りです。

・SF10-31（周辺地域 108 番）

主な使用駅：柏・松戸・辰野

この曲が柏駅や松戸駅で採用される以前に、試験的に新小岩駅で採用されていました。（時期・番線などの詳細は不明）この時のバージョンはフルバージョンだったようです。その後、柏駅・松戸駅に前半部を削ったショートバージョンが導入されました、その後、辰野駅にフルバージョンの頭数秒のみでフェードアウトするバージョンが導入されました。

・SF10-43（周辺地域 109 番）

主な使用駅：柏・武蔵小杉

何と言ったらいいんでしょうか、正直この曲は駆け込み乗車を助長しているような気がします…。ノリの良い曲だからでしょうか。

・SF22-14（周辺地域 111 番）

主な使用駅：松戸・南流山

通称「松戸テレフォンショッピング」。いかにもテレビショッピングが始まりそうな曲で、発車メロディーと言えるかどうか微妙です。実際のところ、昔はユニペックス製の暗い曲を使っていましたが、利用者から「もっと明るい曲にしてくれ」という意見が多く、結果的にこの曲が使われることになりました。松戸駅は「明るい」の意味を履き違えたのかもしれませんが、「明るくするならとことん

明るくしてやろう」という気持ちもあったのかもしれませんが。謎は深まるばかりです。2011年になって武蔵野線の南流山駅でも採用されました。

・SF12/春 ~NewVer~ (周辺地域 112 番)

主な使用駅：秋葉原・日暮里・三河島・神田・四ツ谷

「春」という曲名ですが、ユニベックスの「春」とは曲調も音色も全く違います。この曲も 2005 年から採用駅がかなり増えました。

●永楽電気

本社：東京都品川区

海外の曲や、クラシック音楽、日本の昔の歌を発車メロディーにアレンジしている会社です。曲の数はあまり多くないですが、バージョン違いが多数あります。

■代表曲紹介

・浜千鳥 (東北 3 番)

主な使用駅：館山 (標準)

稲城長沼・分倍河原・中野島・西府 (速い)

矢板 (遅い)

那須塩原 (矢板の物よりも遅い)

南武線のバージョンは曲がかなり速いですが、那須塩原駅のバージョンはこれでもかというほど遅いです。

・ムーンリバー (東北 4 番)

主な使用駅：北小金 (長い)

昔は立川駅や宇都宮線でも使われていたのですが、櫻井音楽工房製の発車メロディーに置き換えられてしまいました。現在は北小金駅で 43 秒のロングバージョンが使われているのみです。

・すみれの花咲く頃 (東北 7 番)

主な使用駅：矢板 (標準)

那須塩原 (遅い)

箱根ヶ崎・白岡・新白岡 (那須塩原の物よりも遅い)

「宝塚歌劇団」と言えばこの曲です。浜千鳥同様、那須塩原駅のバージョンは遅いですが、箱根ヶ

崎駅・白岡駅・新白岡駅のバージョンの方が遅いです。また、福島県田村市大越町ではロングバージョン（約 1 分）が防災行政無線のチャイムとして使われています。ちなみに速さと音程は箱根ヶ崎の物に近いです。

●スイッチ

本社：東京都中央区

最近発車メロディーを多く作っている所です。ご当地メロディーの製作もこの会社が行うことが多いです。他にも、東京メトロ丸ノ内線・副都心線・有楽町線の発車メロディーも作っています。2000年代の前半からJR-SHシリーズの作曲者である塩塚博氏が活動の場をここに移したので、彼が作ったJR-SHシリーズの音色と同じ発車メロディーも多数あります。

■代表曲紹介

ここではJR東日本の物のみ紹介します。曲名の都合により、順番が多少前後します。

・シーウインド（近郊地域 77 番）

主な使用駅：佐倉・軍畑・川井

特に軍畑駅と川井駅は山奥にある液なので曲名に合っていない気がします…。是非とも京葉線に入れてほしいです。

・ジュピターB（近郊地域 78 番）

主な使用駅：井野・甲府・中之条

ジュピター（原曲はホルストの「木星」）の一番有名な中間部の最後の部分をアレンジした物となっています。

・ジュピターE（近郊地域 105 番）

主な使用駅：幕張

ジュピターBよりも少し後の部分をアレンジした物です。

・ジュピターG（近郊地域 101 番）

主な使用駅：伊勢崎

ジュピターの最初の部分をアレンジした物です。

・森の妖精（近郊地域 84 番）

主な使用駅：市川

狙ったような曲名です。是非とも日暮里か西日暮里で使ってほしいです。朝つゆに比べて忙しい曲調が特徴です。音色は JR-SH1 系統と同じです。

・朝つゆ （近郊地域 85 番）

主な使用駅：市川

森の妖精とは反対に曲調がゆったりしています。音色は JR-SH2-1 系統と同じです。

・旅の予感 （近郊地域 87 番）

主な使用駅：軍畑・川井

軍畑駅と川井駅が初採用駅です。何故この 2 駅にしたのか分かりませんが、もっと採用駅が増えると思いたいです。

・田園浪漫 （近郊地域 96 番）

主な使用駅：竜王

この曲が使われる前の発車メロディーはたった 10 ヶ月しか使われていませんでした。個人的には今の曲の方が好きですが。

・ハッピーガール （近郊地域 103 番）

主な使用駅：幕張

幕張駅の発車メロディーは特徴的な物が多いです。これを聞くと幸せな気分になります。多分。

・朝のドヴィッシー （近郊地域 104 番）

主な使用駅：幕張

最初が「清流」そっくりです。ドヴィッシーって誰なんでしょうか…。

◆ご当地メロディー紹介

主に JR 東日本の物を中心に支社別に紹介します。

●東京支社

駅数の割にはご当地メロディーの採用率が低いです。

- ・鉄道唱歌（品川1番）

使用駅：品川

2002年の品川駅開業100周年を記念して、東海道線ホームに導入されました。最後の汽笛はSLばんえつ物語号を牽引するC57 180の物です。



SLばんえつ物語号を牽引する

C57 180

この汽車の汽笛が鉄道唱歌に使われている。

2009.12.23 会津若松駅にて撮影

- ・春～第1楽章～（大井町101番）

- ・秋～第3楽章～（大井町102番）

使用駅：大井町・高尾

この曲が導入された当時（1993年）の駅長がクラシック好きだったことに由来します。当時はあまり有名な曲ではなかったのですが、4ヶ月ほどで今の曲に変更されました。ヴィヴァルディの「四季」の「春」・「秋」の有名な部分を抜粋した物です。

- ・蒲田行進曲（蒲田1番）

使用駅：蒲田

JR東日本最初のご当地メロディーです。1997年に導入されてから現在でも使われています。この地にはかつて、松竹の蒲田撮影所があったことに由来して、この曲が採用されました。

- ・鉄腕アトム（高田馬場1番）

使用駅：高田馬場

2003年から「試験的に」導入されています。鉄腕アトムの原作者である手塚治虫が社長だった手塚プロダクションがこの高田馬場にあったこと、鉄腕アトムの登場人物であるお茶の水博士が勤めていた科学省が高田馬場にあったことが由来しているそうです。

- ・ 第三の男 （恵比寿 5 番・6 番・7 番・8 番）

使用駅：恵比寿

恵比寿駅の近くにエビスビールの工場があったことに由来して、2004年10月に12月までの期間限定で導入されました、その後また汎用メロディーに戻りますが、2005年6月にまた別のアレンジで再導入されました。

- ・ 闘魂こめて （水道橋 1 番・2 番）

使用駅：水道橋

東京ドームが近いことから、東京ドームをホームとする読売ジャイアンツの応援歌が使われています。

●横浜支社

まったくと言っていいほどご当地メロディーを導入しません。そういう主義なのでしょう。まあ、なんでも、いいですけど。

- ・ 熱き星たちよ （関内 1 番・2 番）

使用駅：関内

期間限定で2011年6月から使われています。横浜スタジアムをホームとする横浜ベイスターズの応援歌が使われています。

●八王子支社

横浜支社とは対照的に多くのご当地メロディーを採用しています。特に中央快速線と青梅線はご当地メロディーが多いです。

- ・ 夕焼け小焼け （八王子 1 番）

使用駅：八王子

作詞者の中村雨紅が八王子に住んでいたことに由来します。因みに朝でもこの曲を使っているのが乗客からの苦情は多いそうです。

- ・雨のステーション （西立川 1 番）

使用駅：西立川

立川から青梅線で 1 駅目の西立川駅で使われています。原曲は荒井由実（現：松任谷由実）の「雨のステーション」です。この曲はこの駅をイメージして作られていて、駅の北側にはこの曲の歌碑があります。

- ・どんぐりころころ （奥多摩 1 番）

使用駅：奥多摩

2006 年に奥多摩ステーションギャラリーが開業し、それと同時にこの曲が導入されました。この曲がご当地メロディーに含まれるのかは疑問です…。

- ・鉄腕アトム （新座 1 番）

使用駅：新座

実は鉄腕アトムは新座市に住民登録してあります。住民登録から 1 年後の 2004 年の 4 月にこの曲が導入されました。アレンジは高田馬場駅の物と全く違います。

●大宮支社

ご当地メロディーは少ないです。曲の知名度も…。

- ・希望のまち （さいたま 2 番）

使用駅：大宮・さいたま新都心・与野・北浦和・浦和

さいたま市歌です。さいたま新都心駅ではこの曲が汎用メロディーに置き換えられてしまうという珍しい事態が起きてしまいました。

- ・Vamos Ardija （さいたま 3 番）

使用駅：大宮

地元大宮のサッカーチームの「大宮アルディージャ」の応援歌が使われています。音色は JR-SH1 系統と同じです。編曲した塩塚氏曰く「アレンジした中で一番地味な物が選ばれた」ということです。

- ・Keep On Rising （さいたま 4 番）

使用駅：浦和

地元浦和のサッカーチームの「浦和レッズ」の応援歌が使われています。VamosArdija 同様、音色

は JR-SH1 系統と同じです。

●高崎支社

やたらと市歌を高崎線に導入する傾向があります。

- ・熊谷市歌 （熊谷 1 番・2 番）

使用駅：熊谷・籠原

熊谷市歌です。数ある中の市歌でも非常に評判がいいです。熊谷駅ではサビの部分、籠原駅では最初の部分が使われています。

- ・おねぎのマーチ （深谷 1 番）

使用駅：深谷

深谷市歌です。住民投票で曲を決めたそうです。これで大丈夫なのか深谷市。

- ・ふる里「みなかみ」 （水上 1 番）

使用駅：水上・後閑

みなかみ町のイメージソングです。とてもいい曲です。掛け値なしに。

●水戸支社

ご当地メロディーの宝庫です。特に常磐線に多いです。

- ・七つの子 （磯原 1 番）

使用駅：磯原

Q.鳥は何故鳴くの？ A.鳥の勝手です

曲がとにかく長いです。1 分あります。原曲をそのまま使っています。

- ・とんぼのめがね （広野 2 番）

使用駅：広野

有名な童謡です。私はこれを聞くまで知りませんでした。因みに反対方面の発車メロディーは「汽車」（広野 1 番）です。

- ・日立シリーズ

使用駅：大甕・常陸多賀・日立・小木津・十王

曲が多いので表にします。

大甕駅

1	常磐線	いつでも夢を	上野方面
2	常磐線	恋のメキシカン・ロック	いわき方面

常陸多賀駅

1	常磐線	公園の手品師	いわき方面
2	常磐線	いつでも夢を	上野方面
3	常磐線	いつでも夢を	上野方面

日立駅

1	常磐線	寒い朝	いわき方面
2	常磐線	寒い朝	上野方面／いわき方面
3	常磐線	いつでも夢を	上野方面

小木津駅

1	常磐線	明日は咲こう花咲こう	いわき方面
2	常磐線	いつでも夢を	上野方面

十王駅

1	常磐線	いつでも夢を	上野方面
2	常磐線	若い港	いわき方面

これらの曲はすべて日立市出身の作曲家、吉田正が作曲した物です。

●千葉支社

ご当地メロディーは多くもなく少なくもないです。

- ・ Zip-A-Dee-Doo-Dah （舞浜 1 番）
- ・ It's a small world （舞浜 2 番）

使用駅：舞浜

言わずと知れた東京ディズニーリゾートの最寄り駅です。2006 年からこの 2 曲が発車メロディーとして採用されています。綺麗な音色が特徴です。

- ・ We Love Marines （海浜幕張 1 番）

使用駅：海浜幕張

当駅の近くにあるQVCマリンフィールドをホームとする千葉ロッテマリーンズの応援歌が2005年から使われています。

・証誠寺の狸囃子（木更津1番）

使用駅：木更津

木更津市に実在する証誠寺の狸囃子伝説を元にして作られた曲です。読み方は「しょうじょうじのためきばやし」です。

●仙台支社

何と言っても仙台駅・あおば通駅の発車メロディーが有名です。

・青葉城恋歌（仙台1番）

使用駅：仙台・あおば通

青葉城恋歌をモチーフとした曲で、仙台市出身の榊原光裕氏が作曲した物です。仙台駅の物とあおば通駅の物では音色と最後の部分が異なります。

・花笠音頭（山形1番）

使用駅：山形

山形の有名なお祭り「花笠まつり」のメロディーが1992年から採用されています。

・Sea Green（石巻1番）

・A Sea Bird（石巻2番）

使用駅：石巻

石巻市のラジオ石巻をはじめとした市内の企業の協力のもと、住民投票によってこの2曲が仙石線ホームで2002年から使われていて、曜日毎に使用曲が変わります。休日は「Sea Green」、平日は「A Sea Bird」が流れます。

●秋田支社

ここまで来ると発車メロディー採用駅がかなり少なくなります。

・津軽じょんがら節

使用駅：弘前

発車メロディーに津軽三味線を用いた物が 2004 年から使われています。

・ハチ公物語 （大館 1 番）

・きりたんぼ物語 （大館 2 番）

使用駅：大館

ハチ公と言えば渋谷駅前の像が有名ですが、ハチは大館市生まれの秋田犬です。それをモチーフとして作られた曲が使われています。

以上で JR 東日本の発車メロディー紹介を終わりにします。まだまだ紹介しきれていない曲も多々あるので、お気に入りの発車メロディーを見つけて聞いていただければ、と思います。

◆首都圏の私鉄・地下鉄の発車メロディー

発車メロディーが導入されているのは JR だけではありません。その中で今回は、東武鉄道・西武鉄道・東京メトロ（丸ノ内線・副都心線）の発車メロディーを中心に紹介したいと思います。

●東武鉄道

発車メロディーの導入率が非常に高いですが、今回は曲名が付いている物の一部だけ紹介します。

・PASSENGER

使用駅：池袋・浅草・曳舟・東武宇都宮・北千住

東武鉄道の中で最も有名な曲です。池袋駅は以前、どんどん音程が上がっていくエンドレスバージョン（長さ約 55 秒）を使っていましたが、ノーマルバージョンになってしまいました。また、北千住駅のバージョンは途中でフェードアウトします。

・夜のストレンジャー

使用駅：東武日光・鬼怒川温泉・大宮

曲名を和訳すると「夜のおそ者」という意味になります。決して変質者ではないです。曲が 30 秒くらいあります。鬼怒川温泉駅と大宮駅の物は東武日光駅の物よりも若干音が高く速いです、また、大宮駅の物は途中でフェードアウトします。

・City／メモリア

使用駅：池袋・船橋

正しい曲名は不明です。池袋駅の物は最後までありますが、余韻が短いです。船橋駅の物は途中でフェードアウトします。

●西武鉄道

ご当地メロディーを紹介します。

・翔べ！ガンダム

使用駅：上井草

ガンダムシリーズの製作をしているサンライズが上井草駅の近くにあることから、2008年3月から使用されています。

・銀河鉄道999

使用駅：大泉学園

大泉学園駅がある練馬区がアニメ発祥の地であることから、2009年3月から使用されています。

・吠えろライオンズ

使用駅：西所沢・西武球場前

西武球場をホームとする埼玉西武ライオンズの応援歌が2009年から使われています。

●東京メトロ

丸ノ内線・副都心線の発車メロディーは全てスイッチ製になっています。曲数が多いので表にして紹介します。有楽町線は現在導入中なので紹介しません。

丸ノ内線

方南町支線には発車メロディーが導入されていません。発車メロディー導入には複雑な経緯がありますので、表にしたいと思います。

・丸ノ内線発車メロディー導入までの流れ

2008年6月	副都心線開業と同時に 車外メロディー（街並みはるか・舞フラワー）が導入される
2009年2月	車外メロディーが使用停止、駅発車メロディーが導入されるが、

	すぐに車外メロディーに戻される
2009年3月	丸ノ内線全線でワンマン化が行われる
2009年12月まで	茗荷谷駅にて近隣住民からの苦情によって 車外メロディー・駅発車メロディーの両方を使用停止
2009年12月から	早朝・深夜を除き茗荷谷駅にて営団プザーの使用を再開
2012年2月から	茗荷谷駅を除く各駅で発車メロディーの使用が再開される 但し四ツ谷駅・池袋駅は3月から

・車外メロディー

A線（荻窪方面）	B線（池袋方面）
街並みはるか	舞フラワー

・駅発車メロディー

駅 ナンバリング	駅名	曲名	
		A線（荻窪方面）	B線（池袋方面）
M01	荻窪		星の贈り物 ハート畑
M02	南阿佐ヶ谷	ひかりの反射	夢行きステップ
M03	新高円寺	Blue sky	ハートスタイル
M04	東高円寺	羽根をひろげて	駅にサンキュー
M05	新中野	Comical Train	スイートムーン
M06	中野坂上	Endless Trip	角を曲がれば
M07	西新宿	ラッキーカード	ピアノマン
M08	新宿	ミツバチの兄弟	きらめく小川
M09	新宿三丁目	ステーションベル	ひとやすみ
M10	新宿御苑前	レインボウ電車	駅メモリー
M11	四谷三丁目	トレインライト	Cielo azur（碧空）
M12	四ツ谷	駅ウォーキング	ヒーリング電車
M13	赤坂見附	メトロタウン	レインシャワー
M14	国会議事堂前	ランダムショット	東京旅姿
M15	霞ヶ関	Tokyo Line	スマイル電車
M16	銀座	明日の扉	小鳥の行進

M17	東京	らくらく乗降	夢心地
M18	大手町	快適乗降	潤い電車
M19	淡路町	Safety	駅スイート
M20	御茶ノ水	ハートレール	ジェントルトレイン
M21	本郷三丁目	素敵にハート	サニーサイドステーション
M22	後楽園	マウンテン	サークルゲーム
M23	茗荷谷	スペシャルゲスト	希望の電車
M24	新大塚	もうすぐ扉が開まります	ドリーム駅
M25	池袋	フランソワ キラリトレイン	

副都心線

2008年6月の開業当時から小竹向原～渋谷駅間で導入されました。その後2011年3月より、地下鉄成増～氷川台駅間にも導入されています。

・駅発車メロディー

駅 ナンバリング	駅名	曲名	
		A線（渋谷方面）	B線（和光市方面）
F01	和光市		なし
F02	地下鉄成増	電車ライト	はらり
F03	地下鉄赤塚	レッツトレイン	始まるよ
F04	平和台	輪になって	こおろぎ
F05	氷川台	もう来ます	ワクワク電車
F06	小竹向原	オーバーフロー 駅ストレッチ	無休 キャロット
F07	千川	オン・ザ・コーナー	Good day
F08	要町	City Runner	イーストパラダイス
F09	池袋	TOKYO CITY	Morning station
F10	雑司が谷	シーサイド	ティータイム
F11	西早稲田	クリストフ	シルバーレール
F12	東新宿	花咲く街角	春の翼
F13	新宿三丁目	不思議のワルツ	夢見るハート

F14	北参道	ぐるぐる	プラット散歩 2
F15	明治神宮前	てんとう虫のステップ	ゆっくり行こう
F16	渋谷		おとぎのワルツ 愛ステーション

発車メロディーの曲名は JR の物よりも凝っていて (?)、どれも面白いです。

◆あとかき

「停車場に載せられるレベルの文章なのか」、とか「誤字脱字多すぎ」、等の意見や苦情はホームページに載っているメールアドレスからどしどしお寄せ下さい。

さて、今回は「発車メロディー」をテーマにしました。最初は旅行記を書こうかな、とか思っていたんですが、7月末に突如カメラが故障、お金が無いのも相まって結局旅行なんてできませんでした。

なんやかんやで今回はこのテーマになりました。総編集時間 3 日以上のか力作。

正直、こんなページ数になるとは思ってなかったりして。内容も若干削ろうかと思っていましたが、折角書いたから…とかというくだらない理由で削っていません。すいません。

◆参考文献

- ・ Wikipedia - フリー百科事典 (URL : <http://ja.wikipedia.org>)
- ・ 発車ベル使用状況 (URL : <http://hassya.net/>)
- ・ oriori -Station 館- (URL : <http://ori.oc.to/>)
- ・ hatsumelo.com (URL : <http://www.hatsumelo.com/>)
- ・ 発車音の世界 ～THE 海岸通り～ (URL : <http://kaigansansei.ehoh.net/>)

◆トップ画像

Victor 製スピーカー (小丸 VOSS) 2009.11.01 久里浜駅にて撮影
最近登場したタイプのスピーカーです。

ここから先は発車メロディーに関係ない話なので興味のない方は次の方のページへ

◆座談会のおはなし

恐らく座談会の件はかなり省略されるのでは(?)と個人的に思っているので、軽く適当に補足していきたいと思います。

当初の参加者は4人の予定だったのですが、その内の1人と音信不通状態(後に風邪と判明)になってしまい、結局3人で座談会をすることになりました。(そして開催日延期)因みに会場は当日の3時くらいに強引に決定させられたようです。(他人事)場所は東京都内のSNGW区のSMZ駅前のアレ。まあ座談会の主催者は私ではないので、日取り・場所を決める必要はありませんでした。(苦笑)

そんなゴタゴタはさておき、座談会の内容ですが5割くらいは鉄研の旅行について。9回の旅行の中での思い出を語ろうの会。上諏訪事件や広島事件などについて回想。嫌な事件だったね。まあ本当に嫌な事件だったんですけど。顧問のNSJM先生が特に。あと新車を早く入れてください広島さん。

もうその後覚えてない。1ヶ月前の話です。因みに上諏訪事件の後、旅行で中央本線を通ることが減った気がします。上からの圧力でしょうか何でしょうか。恐ろしやNSJM先生。

NSJM先生を起こさなかったのは私ですごめんなさい。はい。すいませんでした。以後こんなことが無いように気をつけます。これからはNSJM先生の快適な旅をサポートしたいと思います。(笑)

追記

~~最近部の中で座談会をするのが流行りになっています。~~

~~次は忘年会。その次は新年会。~~